

# 【1】第10期事業報告

## 平成30年度（第10期）事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日

### 1. 事業の成果

都道府県開催の「放課後児童支援員認定資格研修」は、西日本を中心に6県の委託を受け実施することとなり、本会が全国一の受託数であった。今までの放課後児童指導員資格認定事業の実績ゆえの結果であり、放課後児童支援員の専門性の向上に向けて貢献することができた。

### 2. 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
<b>■放課後児童指導員資格認定事業</b>						
資格認定講習会	放課後児童育成支援師資格等認定講習会開催	年9日	岡山市内 愛媛県	4人	一般 46人	1,038
資格認定	資格の認定証発行等	年1回	岡山市内	3人	修了者 72人	217
資格養成課程	大学等へ養成課程カリキュラムの導入	通年	全国各地	2人	大学・短大等	33
資格認定者管理	資格者の管理等	通年	岡山市内	2人	登録会員 1078人	0
<b>■放課後児童指導員養成研修事業</b>						
都道府県放課後児童支援員認定資格研修	各地放課後児童支援員研修の受託、講師派遣	年82日	6県 19カ所	33人	自治体等 受講者 1918人	15,924
フォローアップ研修	資格者の再研修及び指導者資格研修	年2回	全国 2カ所	6人	40人	769
岡山県放課後児童支援員等資質向上研修	放課後子ども総合プラン合同研修、初任者・中堅者研修を行う	年7回	岡山県	7人	自治体等 受講者 304人	1,257
島根県放課後児童支援員等キャリアアップ研修	島根県内の支援員等を対象に研修を行う	年4回	島根県	4人	受講者 108人	1,411
倉敷市放課後児童クラブ支援員等階層別研修	倉敷市の支援員に中堅者研修を行う	年2回	倉敷市内	4人	受講者 103人	203
放課後児童支援員認定資格研修テキスト作成事業	放課後児童支援員認定資格研修で使用するテキストの作成	通年	岡山市内	4人	自治体等	182
<b>■放課後児童健全育成事業 実施なし</b>						
<b>■その他本会の目的を達成するための事業</b>						

情報発信メルマガ・WEB サイト	メールマガジンの発行 ホームページの管理	年6回 以上	岡山 市内	2人	登録会員他 一般	0
------------------	-------------------------	-----------	----------	----	-------------	---

## ■放課後児童指導員資格認定事業

### 〈資格認定講習会〉

#### 【目的】

放課後児童育成支援師資格等を認定するための講習会に関わる準備と実施。

#### 【概要・内容】

「放課後児童育成支援師資格」は34名（内再履修者1名）の受講者を迎え、「放課後児童専門育成支援師資格〈組織マネジメント〉」は11名の受講者を迎え、「放課後児童高度育成支援師資格」は2名の受講者を迎え、それぞれ開催した。

高度育成支援師は合格者2名で、2月17日実践研究発表会を開催し、参加者は41名であった。

#### 【成果・課題】

専門と高度は会員を中心に案内し、育成については愛媛県より開催希望の連絡があり愛媛県内に案内を送付した。受講者が34名（内再履修者1名）で、同じクラブから受講される方々が多く、学ばれた方々の満足度は高い様子が伺えた。岡山県、徳島県と愛媛県外からの参加もあった。受講者をさらに増やすには、本会の資格取得が処遇改善と繋がるしくみが考えられる。

### 〈資格認定〉

#### 【目的】

資格認定講習会または養成課程にて修了された方に、認定資格証と資格証カードを発行する。

#### 【概要・内容】

資格認定講習会からは、育成支援師32名（仮10名）、専門育成支援師11名、高度育成支援師2名、過去修了者1名の計46名に、養成課程設置校からは鈴鹿短期大学6名、中国学園大学21名へ資格証を発行した。更新制の導入により、平成25年度取得者248名の資格証カードを再発行した。

#### 【成果・課題】

協会資格の変更により、資格種別が、従来の「放課後児童指導員」「放課後児童指導員〈上級〉」2種類から、新資格3種類分と仮認定（支援員研修未修了者）と計6種類に増え、複雑化したため、煩雑にならないような管理方法が必要である。

### 〈資格養成課程〉

#### 【目的】

放課後児童指導員資格を大学で取得できるようにすることを目的としている。そのため、資格取得が可能となる養成課程の設置に関する業務を行っている。

#### 【概要・内容】

- ①養成課程設置校3校の設置更新料や年会費の請求。質問への連絡対応など。
- ②設置を検討する学校からの問い合わせに対する対応。
- ③表彰者2名への賞状、記念品の授与。

#### 【成果・課題】

- ①今後に備え、養成課程の継続や教員の変更手続き等に関する規定を明確にする必要がある。

- ②連絡協議会の詳細が不透明なまま会費を請求したため、提示が求められている。
- ③養成課程の設置を検討する大学等からの質問に対し、迅速に回答できる体制を整える。
- ④本協会とは別組織ではあるが、養成校の連絡協議会の設立を後押しする。また養成校の実習先確保のためにも、本協会認定講習会の講師陣との合同研修会を継続して開催できるようにする。

## 《資格認定者管理》

### 【目的】

放課後児童指導員資格認定者（登録会員）の情報管理

### 【概要・内容】

平成30年度までの資格認定者1,078名の情報管理と、登録会員の年会費引き落とし手続き。

### 【成果・課題】

平成30年度の年会費を各会員の郵便局口座から自動引き落としするための手続きを行なった。64名が未徴収。未徴収者には2回郵便にて連絡しており、2年未納者で3年目となった方には、年度末で自動的に退会＝資格無効となる旨を伝えた。今年度末での退会者は60名（内資格失効25名）となっており、支援員研修スタート以降、退会する方が増えている。

## ■放課後児童指導員研修事業

### 《都道府県放課後児童支援員認定資格研修事業》 委託事業

### 【目的】

国のガイドラインに沿った「放課後児童支援員認定資格研修」を都道府県からの委託を受け開催するもの。プロポーザルに参加し、滋賀県・鳥取県・岡山県・広島県・徳島県、随意契約で高知県からの委託を受けた。

### 【概要・内容】

各県での開催数・場所・受講者数は以下となっている。

県・会場数	開催場所	開催日数	受講者数
滋賀県2会場	大津市・彦根市	4日間×2会場	301名
鳥取県1会場	倉吉市	6日間×1会場	82名
岡山県5会場	岡山市2会場・倉敷市・津山市・総社市	4日間×5会場	417名
広島県8会場	広島市4会場・呉市・東広島市・三次市・福山市	4日間×8会場	868名
徳島県2会場	徳島市・美馬市	6日間×2会場	139名
高知県1会場	高知市	4日間×1会場	111名

### 【成果・課題】

昨年度の7県22会場から奈良県が価格競争となり6県19会場と会場数が減った。4年目となり、事務局規模の割には、スムーズな企画運営ができていると思う。課題としては、台風の影響を最も受けた年だったため中止延期が6回あり、対応に追われることとなった。台風時の対応は案内しているものの、判断基準が遅いなどの意見を受けたため、今後に向けては基準の見直しと対応の周知に向けて改善が必要である。

## 《フォローアップ研修事業》

### 【目的】

登録会員の方へのフォローアップ研修を行う。

### 【概要・内容】

登録会員へのフォローアップ研修を年2回各地域にて実施した。開催地、参加者数は以下である。

開催地域	開催日	内容	参加者数
岐阜	2月3日	プロとして取り組む実践検討会2 講師:中山芳一	21名
宮崎	3月24日	学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす 講師:中山芳一	約20名

### 【成果・課題】

岐阜についてはクラブ運営をしているNPO組織が主であるため、今まで行ってきたフォローアップ研修の中身(実践記録)を現場で確実に定着させ、その記録をもとに検討会を行いたいとの意思表示も受け、着実なステップアップができていくことが実感できた。例年開催できる地域とできない地域(函館・石川・奈良・徳島・高知・佐賀)が固定化されつつあり、それは、各地域で開催されている支援員対象の研修量とも関係している。開催は協会への求心力となるため、拡充に向けて取り組んでいる。

## 《岡山県放課後児童支援員等資質向上研修業務》 委託事業

### ①放課後子ども総合プラン合同研修

#### 【目的】

岡山県からの委託により、県内の放課後児童クラブと放課後子ども教室の指導者を対象に研修会を開催した。

#### 【概要・内容】

12月9日(日) くらしき作陽大学にて午前9時50分から午後15時で開催し、127名が参加した。全体研修と3つのテーマ別研修会(①発達障がい理解を深めるために56名 ②放課後児童クラブと放課後子供教室が連携するために24名 ③体験活動を単なる体験活動にしないために25名)を行い、参加者が受講を選択できるようにした。

#### 【成果・課題】

9割の方が研修内容に満足している評価をいただいた。今回初めて企業の方を講師にお呼びしたが、今までにない視点や企業が子どもの育ちを支援する取り組みやプログラムを行っていることで、クラブの新たな連携組織としての繋がりやノウハウが学びであった高評価の部分と、企業故の宣伝活動と捉える方もなかにはおられた。都市部では体験プログラムの多様化やプロから直接学ぶ機会として子どもの放課後活動と企業連携は進んでおり、支援する側の意識付けにはいい機会であったと思っている。

### ②初任者・中堅者研修

#### 【目的】

岡山県からの委託により、県内の放課後児童クラブに関わる職員を対象に、初任者、中堅者と階層別での研修会を開催した。

#### 【概要・内容】

階層別	地域	開催日	内容	参加者数
初任者	岡山市	1月19日	午前:健全育成事業の一般原則,職務内容	57名

			午後：育成支援の基本と実際 講師：中山芳一	
	津山市	2月3日	午前：健全育成事業の一般原則, 職務内容 講師：鈴木瞬 午後：育成支援の基本と実際 講師：籠田桂子	34名
中堅者	岡山市	1月26日	育成支援計画（講義・演習） 講師：住野好久	76名
		2月16日	実践記録と検討（講義・演習） 講師：中山芳一	74名
	津山市	1月20日	育成支援計画（講義・演習） 講師：住野好久	18名
		1月27日	実践記録と検討（講義・演習） 講師：中山芳一	17名

【成果・課題】

今年度より子どもプラン合同研修と階層別研修とが合同の仕様書となり、企画提案後受託となった。申込みにあたっては、市町やクラブでの偏りがあり、クラブ運営者が研修受講に対して前向きな評価をしているところは支援員も研修参加に対して前向きであり、遠方まで足を運ぶ意欲もあるが、そうではない運営者のクラブはこの3年の間に全く受講がないところもあり、クラブ格差が一目瞭然である。

《島根県放課後児童支援員等キャリアアップ研修業務》 委託事業

【目的】

島根県からの委託により、県内の放課後児童クラブ支援員と放課後子ども教室指導者を対象の連携と支援の質の向上を図ることを目的に研修を開催した。

【概要・内容】

1回目は放課後児童支援員と放課後子供教室の方と対象としており、2回目は支援員のみの内容となっており、2回通して参加し課題を提出された方へ修了証が発行された。

地域	開催日	内容	参加者数
松江会場	1月12日	○子どもたちの豊かな放課後のために ○子どもの発達段階に応じてかかわるために ○子どもたちの遊びにかかわるために ○子どもたちにかかわる上で気を付けておきたいこと 講師：中山芳一	40名
	2月3日	育成支援計画（講義・演習） 講師：住野好久	33名
浜田会場	1月13日	○子どもたちの豊かな放課後のために ○子どもの発達段階に応じてかかわるために ○子どもたちの遊びにかかわるために ○子どもたちにかかわる上で気を付けておきたいこと 講師：中山芳一	67名
	2月9日	育成支援計画（講義・演習） 講師：住野好久	53名

【成果・課題】

内容に対する評価は高かったが、2回目の育成支援計画の内容について初めての方が多く理解が難しかった様子が伺えた。今後に向けては、工夫が必要である。

《倉敷市放課後児童クラブ支援員等階層別研修（中堅者）業務》 委託事業

【目的】

倉敷市の委託により、放課後児童クラブ支援員の中堅者を対象に研修を開催した。

**【概要・内容】**

岡山県から委託を受けて開催している資質向上研修の中堅者対象と同じ内容でカリキュラム提供（講師派遣・テキスト利用 102 冊）をした。

12 月 2 日 育成支援計画（講義・演習） 講師:住野好久

3 月 10 日 実践記録と検討（講義・演習） 講師:中山芳一

**【成果・課題】**

運営等は市が行ったため当日の様子はわからないが、市内の支援員が対象であったため多くの方が受講することができ、市全体の質の向上に向けて役立ったと感じた。

## ■放課後児童健全育成事業

該当する事業はなし。

## ■その他本会の目的を達成するための事業

### 《設立 10 周年記念祝賀会》

**【目的】**

設立 10 周年を記念し、講師、会員、関係者を招待して祝賀会を開催した。

**【概要・内容】**

講師、会員、関係者 1,057 名に招待状を送り、495 名からの返信があった。2 月 17 日（日）12 時～15 時、ピュアリティまきびにて開催し、祝辞は 14 通頂戴し、90 名（来賓 24 名、会員 52 名、関係者 14 名）の参加があった。

**【成果・課題】**

遠方の会員、議員の方の参加もあり、今までを振り返り共有する機会となり、改めて存在意義を確認し、これからの協会の発展と次回 20 周年に向けて決意を固める会となった。

### 《メールマガジンの発行》

**【目的】**

会員への情報提供と会員同士の交流

**【概要・内容】**

5 月より隔月で 6 回発行（49 号～54 号）内容は、

- ・理事長だより
- ・各種研修、セミナーのお知らせ
- ・シリーズ 支援員研修各科目のポイント
- ・研修の報告、感想 など

**【成果・課題】**

隔月定期発行だが、研修の申込み以外については、会員からの反応は特にない。会員管理システムにより、不達メールと原因の詳細が確認できるため、配信率は 97%になっている。

### 《ホームページの運営》

**【目的】**

社会に対して、本協会の活動を幅広く提供する。

**【概要・内容】**

最新の情報を提供するためトップページ「お知らせ」を、年 10 回程度更新を行った。研修会等の企画運営のページを業者へ依頼し修正を行った。フェイスブックによる情報発信は年 10 回行った。

**【成果・課題】**

「指導員協会」検索でヤフー、グーグルともにトップにヒットし、フェイスブックページも 2 番目にヒットする。ホームページを見ての問い合わせがあるなかで、リニューアルしたことで、国の資格と本会の資格について明確になり、説明がしやすくなった。